

2010年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試 (第一次日程) : 筆記試験 (教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 次の文章は、「世界人権宣言」の条文である。(A)～(C)にあてはまる語句を【語群】から選んで、解答欄に記号を書きなさい。

第二十六条

- 1 何人も、教育を受ける権利を有する。教育は少なくとも初等且つ基礎的の段階においては、(A) でなければならない。初等教育は、(B) でなければならない。
(以下、略)
- 2 教育は、(C) の完全な発展と人権及び基本的自由の尊重の強化とを目的としなければならない。(以下、略)

【語群】

- ア. 中立 イ. 義務的 ウ. 理性 エ. 文化 オ. 人格
カ. 知性 キ. 無償 ク. 良心 ケ. 権利 コ. 道徳性

問2. 次の文章は、明治期を中心とした教授法の歴史に関する記述である。空欄(a)～(d)に入る語句の組み合わせとして正しいものを1つ選んで、解答欄に番号を書きなさい。

江戸時代の寺子屋では師匠による 形式の授業が行われていたが、1872(明治5)年に「学制」が導入されると、授業の方法も改められ、小学校では の方法が導入された。同年に文部省は師範学校を設けたが、創設当時の師範学校には が招かれて、アメリカから教科書や教具を輸入して、新しい教授法を伝習した。明治30年代になると、 派による五段教授法が公教育の教授法の定型をつくった。

- | | | | |
|------------|----------|----------|------------|
| ① (a) 個人教授 | (b) 注入教授 | (c) モルレー | (d) ヘルバルト |
| ② (a) 個人教授 | (b) 直観教授 | (c) スコット | (d) ペスタロッチ |
| ③ (a) 分団教授 | (b) 一斉教授 | (c) モルレー | (d) ペスタロッチ |
| ④ (a) 個人教授 | (b) 一斉教授 | (c) スコット | (d) ヘルバルト |
| ⑤ (a) 分団教授 | (b) 直観教授 | (c) モルレー | (d) ヘルバルト |

問3. 次の①～⑤は、大正期・昭和期の日本の教育について、関連する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- | | |
|------------------|---------------|
| ①臨時教育会議＝大学令 | ②八大教育主張＝野口援太郎 |
| ③国民学校＝「国民ノ基礎的錬成」 | ④鈴木三重吉＝『赤い鳥』 |
| ⑤美濃部達吉＝「天皇機関説」事件 | |

問4. (a) から (e) の語句を時代順に並べたものとして正しいものを、①から⑤の中から1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- (a) 文部省「新日本建設ノ教育方針」を發表 (b) 学習指導要領(一般編・試案)の發行
(c) 「道徳の時間」の特設 (d) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の公布
(e) 新制高等学校の発足

- ① (a) → (b) → (e) → (c) → (d)
② (a) → (b) → (e) → (d) → (c)
③ (b) → (a) → (d) → (c) → (e)
④ (b) → (a) → (d) → (e) → (c)
⑤ (b) → (e) → (c) → (a) → (d)

問5. 以下は学校教育法(平成19年6月27日法律第98号)の条文の一部である。内容として正しいものには○、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に書きなさい。

- (a) この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学及び高等専門学校とする。
(b) この法律で、国立学校とは、国の設置する学校を、公立学校とは、教育委員会の設置する学校を、私立学校とは、学校法人の設置する学校をいう。
(c) 学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担する。
(d) 学校には、校長、教頭及び相当数の教員を置かなければならない。
(e) 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。

問6. 以下の3つの問いについて、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- (1) 課題の達成に対する動機づけを、努力、能力、運、課題の困難度に帰属させるという理論を提唱したのは次のうち誰か。
a) アトキンソン b) ワイナー c) ハイダー d) パブロフ e) ケリー
- (2) レビンが提唱した、回避—回避、接近—回避、接近—接近 の3つのパターンを持つ行動とは次のうちどれか。
a) 愛着 b) 動機づけ c) 不登校 d) 葛藤 e) 道徳性
- (3) Aくんの目の前のテーブルに、10円玉2つを並べて「いくらですか?」とたずねたら「20円」と答えた。次に、10円玉1つと50円玉1つを並べて「いくらですか?」とたずねたら「20円」と答えた。Aくんは、どの認知発達の段階にあると考えられるか。
a) 感覚運動期 b) 前操作期 c) 具体的操作期 d) 形式的操作期 e) 創造期

問7. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域 (A)

- 『エミール』
- 『学校と社会』

領域 (B)

- 国定教科書
- 教育刷新委員会

領域 (C)

- 就学援助
- 学校管理規則

領域 (D)

- メタ認知
- ぐ犯少年